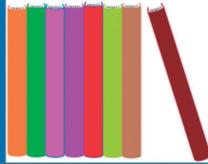




大人が絵本を 第44回 なるほど！ 納得！



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事ファウンダー

「男の子」「女の子」での決めつけは NG

男の子が夢中になるのは「戦隊もの」で、女の子のあこがれは「お姫様」とお話しましたが、疑問をもたれなかったでしょうか。ウルトラマンが好きな女の子もいますし、お姫様になりたい男の子だっています。ビブリオキッズでは、『仮面ライダー』を必ず読む女児や、ドレスを着て遊びに来る男児、ケンカをはじめとする戦うお話が嫌いな男児もいて、好むものは性別に関係なく人それぞれということです。売れっ子絵本作家のふみ氏の人気シリーズ『おひめさまようちえんと はくばのおうじさま』のお話では、気弱だったり、戦おうとしなかったりする男の子たちが変わって怪獣をやっつけるドレス姿の“あんちゃん”がヒーローです。

私たち大人は、日本の古き悪しき慣習より、男女の役割やカラー、将来の道を固定的に形作っていませんでした。古くからある固定観念で「男の子だから」、「女の子は」などと決めつけてはいけないということです。大人も子どもも、価値観の違いを認め、多様性を受容する心を育んでいかなければなりません。ともすれば、大人の顔色をうかがい、自分の気持ちにフタをしている子どももいるのではないのでしょうか。

だからといって、「個性や多様性を受け入れましょう」と取り上げて論ずるのではなく、また、自分の気持ちを素直に表現する心について特に知らしめずでもなく、それらを自然体で受け入れ、身につけていけるツールは、やはり絵本なのです。

SNSが一冊の絵本を復活させた！

1990年に初版本が発行され、その後、絶版状態と

なっていた一冊の絵本が、昨年末、SNSで話題となりました。作者は、音楽活動も行っている絵本作家の新沢としひこ氏で、ぶかぶかのプレザーを着て、蝶ネクタイをした女の子が表紙絵の『けっこんしようよ』です。「ドレミファえんのたちつてとっこ」シリーズの3巻に当たり、表紙から登場するプレザーを着た“とっこ”が、ドレス姿のはるな先生と結婚式をあげたり、男児が大好きな図鑑の花嫁になったり、「結婚しない式」をあげたりと、子どもたちの様々な“結婚式”を描いています。

『けっこんしようよ』
新沢としひこ 作
今井弓子 絵
(岩崎書店)



昨今でこそ、ジェンダーフリーやLGBTという言葉が聞かれるようになりましたが、そういった概念の浸透していない1990年に発行されたこの絵本は、当時、あまり受け入れられなかったようです。この絵本が今、話題になったことについて新沢氏は、「世の中が変わってきたんだなと思った」「今だからこそ、こういうメッセージが伝わりやすくなった」とコメントしています¹⁾。

そして、昨年まで絶版だった本書は、SNSから拡散された反響によって、今年3月に版元の岩崎書店より復刊されました。25年以上前に出版されたものの影にいた絵本が、ソーシャルネットワークシステムと多様性の時代に、脚光を浴びることになったのです。

時代の産物「SNS」ですので、世の中に還元していく活用法を広げていきたいものです。

手にするときは！

家族のカタチ、セクシュアリティ

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

ペンギン イタリア発！ 家族のカタチ十人十色

福岡市内にあるイタリア会館・福岡より、イタリアの翻訳絵本『たまごちゃん、たびにでる』が2013年に出版されました。本国イタリアで2011年発行の原題は「PICCOLO UOVO」で、イタリア会館・福岡館長のドリアーノ・スリス氏らによって、日本の子どもから大人の手元にわたることとなったのです。

この世に生まれる前の“たまごちゃん”が、自分が生まれてどんな家族の元に行くのか心配で、いろいろな「家族」を訪ねて歩く旅です。最初に会ったウサギは、パパ・ママと子ども3人の5人家族で、たまごちゃんもこんな家族になるのかなあと考えていたら、次には、ママが2人と子ども1人の仲良し3人家族に出会います。かばさん家はママかばと子ネコの2人家族で、いっぱい遊んでもらっていました。ネコ夫婦と子犬の家族にも出会います。シングルマザーや、パパが2人の家族、それに血縁関係のない親子など十人十色、十家族十色の家族が登場します。

『たまごちゃん、たびにでる』
フランチェスカ・パルディ 文
アルタン 絵
ドリアーノ・スリス、大西佳弥 訳
(イタリア会館出版部)



家族に決まりきった形はないこと、多様な形もこの見方と考え方があって、価値観が違うからこそ、社会で生きることの素晴らしさをじんわりと伝えてくれます。この国の大人の皆さまへ向けて、“医療法人 元気が湧く”が根付く福岡から、素敵な絵本が発信されているのです。

ペンギン 正しい認識できていますか？

審議の進む働き方改革で示されている「ダイバーシティ&インクルージョン」においては、「女性、シニア、外国人、障害者、LGBTなど多様性を受け入れ、人材を活用して生産性の向上や市場のニーズに対応しよう」との概念で、企業の社会的責任が重要課題とされ、LGBT研修を取り入れる会社も現れ始めました²⁾。最近、ニュースでもよく聞かれるようになったLGBTについて、患者様に正しい説明ができますでしょうか。医療機関では、正確な情報発信と、気にかかる親子の気づきに努める責任があります。

1955年に初版が刊行されてから60年の間、改訂を重ねてきた『広辞苑』(岩波書店)が今年1月、10年ぶりに第七版を刊行し話題になりました。ところが、新たに盛り込まれた「LGBT」の項目で説明を誤り、当事者から指摘を受けたことで、岩波書店はホームページで、お詫びとともに正しい解説文を発表することになったのです。

「LGBT (1) レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルおよびトランスジェンダーを指す語。GLBT。(2) 広く、性的指向が異性愛でない人々、性自認が誕生時に付与された性別と異なる人々。」と改められました³⁾。

ペンギン 多様性の時代に

2015年3月に渋谷区議会は、日本では初めてとなった同性同士のカップルが「結婚に相当する関係」にあることを認める証明書を発行する条例案を発表し、大きなニュースとなりました。これに続いて7月には、世田谷区も同様の準備を進めていることを公表し、11月には両区で、「同性パートナーシップ証



明書」の交付を始め、各種メディアはこれを大きく取り上げ、注目されました⁴⁾。福岡市も、政令市では札幌に続き2市目となる認証を、今年4月にスタートしました⁵⁾。

また、文部科学省は2015年4月、「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」を発表し、「悩みや不安を受け止める必要性は、性同一性障害に係る生徒だけでなく、いわゆる『性的マイノリティ』とされる児童生徒全般に共通するものであること」が明らかになったとされています⁴⁾。

『くまのトーマスはおんなのこ』

表紙絵とともにタイトルは、絵本の顔です。内容をズバリ表しているものはたくさんありますが、かわいいタイトルや楽しそうなタイトルの絵本を開くと、実はテーマが深かったり、メッセージ性の強いものであったりして、時に居住まいを正すこともあります。

『くまのトーマスはおんなのこ』
ジェシカ・ウォルトン 作
ドゥーガル・マクファーソン 絵
かわむらあさこ 訳
(ポット出版プラス)



『くまのトーマスはおんなのこ』というタイトルを見ると、「かわいい」や「ぬいぐるみ」がイメージできます。しかし、サブタイトルで「ジェンダーとようじょうについてのやさしいおはなし」と明記されているとおり、トランスジェンダーがテーマで、性の不一致に悩む男の子のお話です。トランスジェンダーとは、「性別越境者。生まれた時に割り当てられた性別とは異なるアイデンティティをもつ人」を指します⁴⁾。『広辞苑 第七版』の誤った説明とは、この性自認のTの概念が抜けたものでした。

くまのトーマスは、身体は男の子だけれど、心は女の子(M t F)で、そんな自分は「普通」でないの

はないか、こんなことを友だちに知られたら「友だちじゃなくなってしまうかも」と悩みます。しかし、打ち明けられた友だちは「君が女の子でも男の子でも気にしない。大事なのは君がほくの友だちってこと⁶⁾」と言って、受け入れてもらえたことで、自分らしく生きられるようになるというストーリーです。

現実には、絵本のように容易ではないでしょうけれど、小さな子どもたちへ、「こんな悩みを抱えた人もいるんだよ」という性の不一致をやさしく教えてくれます。そして、実際に疑問を感じていたり、悩んでいたりする当事者の子どもへ、「誰かに打ち明けて、自分らしく生きてみてごらん」と、そうっと背中を押してあげることでしょう。絵本は、子どもたちの心の救世主にもなってくれるのです。

『セクシュアリティはアイデンティティ』

セクシュアリティは、特に思春期に認識しやすいと言われ、同性を好きになったり、トランスジェンダーの場合は第二次性徴期に体に変化していくことに戸惑いを覚えたりすることもあるそうです。トランスジェンダーと混同されやすい性同一性障害とは、「体の性と心の性が一致しないために、自らの体に持続的な違和感を持ち、心の性に一致する性を求め、時には体の性を心の性に近づけるために性の適合を望むことさえある状態を指す医学的な疾患名」です⁷⁾。性同一性障害の場合は、小学校入学前にトランスジェンダーのうち半数以上が性別違和感を持っているという調査も報告されています⁸⁾。問題が現れるのは何も思春期に限らず、保育園や幼稚園の幼少期から違和感を覚える子どももいるということです。

『LGBTってなんだろう？～からだの性・こころの性・好きになる性』(合同出版)の著者である、NPO法人ReBit代表理事の薬師実芳氏は、「幼い子が性的な違和感を持っているかもしれない発言を否定しないで見守ってほしい」と言います。「自尊感情を保つためにも、身近な大人が理解を示してくれることは、

とても大切」と話しています⁷⁾。これは、小児を診る医療機関では、より大切なことです。

そのままの自分でいられる居場所づくり

子どもの集う施設では、大人が気づくか気づけないかの問題は別として、LGBTの子どもがいることを前提として携わる必要があります。当事者の子どもたちは、本当の自分を消して過ごしている場合もあるでしょう。小児の医療現場では、正しい知識をもった対応が求められます。医療従事者として患者様のQOLを高めるために、LGBTや性の正しい知識と理解を持ち合わせているかどうかは重要要素です。何より、安易な言葉や態度で、無意識のうちに患者様を傷つけてはならないことは言わずもがなです。

大人にも、子どもにもLGBTや多様性の理解に参考となる絵本をいくつか紹介しましょう。



『タンタンタンゴはパパふたり』(ポット出版)

ニューヨークのセントラルパーク動物園で本当にあったペンギンのエピソードを元にした絵本です。動物も人間の世界と同じく、性を越えた多様性があることをさりげなく教えています。

『王さまと王さま』(ポット出版)

王子さまはお姫さまと結ばれるのが当たり前ではありません。王子さまは、次々と紹介されるお姫さまに、どうもしっくり感じず、胸がトキめいたのは、王子さまだったのです。

『いろいろな かぞくのほん』(少年写真新聞社)

『たまごちゃん、たびにでる』の人間バージョンです。家族構成だけでなく、さまざまな人種がいて、住む家も働く人も働き方も、それから服装も十人十色で、多様性がわかりやすく描かれています。

『レッド あかくてあおいクレヨンのはなし』(子どもの未来社)

ラベルは赤だけど、中身は青いクレヨンが主人公です。周りの人にはラベルの中身が見えないた

め、赤いものを描けないレッドに心ない言葉をかけます。ラベルに縛られずに、自分の色を見つけようというメッセージが伝わってきます。

『わたしはあかねこ』(文溪堂)

白猫のお母さんと黒猫のお父さんから生まれた赤猫は自分の色を気に入っているのに、両親の黒か白を受け継いだ他4兄弟は、一匹だけ違ってかわいそうと思うのです。「私らしさ」をわかってもらえない悲しさから家を飛び出しますが、ありのままの自分を認めてくれる存在に出会い、居場所をみつけるというお話です。



多様性の時代に価値観の違いを認め合い、尊重し合うことの大切さを絵本というツールがやさしく説いてくれます。オススメしたいのはむしろ、大人の皆様に対してです。子どもたちが人とは違う自分を恐れたり、排除したりされたりしなくて良いように、子どもたちみんなが自信をもって生きられるように、大人が見守っていきましょう。人間のアイデンティティであるセクシュアリティについての知識を高めて、さりげなく、子どもたちに寄り添っていきましょうではありませんか。



文献

- 1) 同性でも1人でも いろんな結婚式を描いた1990年の絵本『けっこんしようよ』に絶賛の声、ねとらぼ、HP <http://nlabitmedia.co.jp>
- 2) LGBTメディア：LGBTフレンドリー企業まとめ、Rainbow Life, 2018/2/5, HP <https://lgbt-life.com>
- 3) 岩波書店：『広辞苑 第七版』読者の皆様へ、岩波書店, 2018/1/25, HP <https://www.iwanami.co.jp>
- 4) 東 優子：提言「性的マイノリティの現状と人権問題」、人権教育は今(福岡県教育委員会), 2(26), p.2-5, 2016.
- 5) 西日本新聞社：LGBTカップル認定 福岡市で1号、西日本新聞, 2018/4/3, p.32.
- 6) ジェシカ・ウォルトン 作, ドゥーガル・マクファーソン 絵, 川村安紗子 訳: くまのトーマスはおんなのこ, ポット出版プラス, 東京, 2016.
- 7) 薬師実芳: 100人いたら100通りの性: 母の友, (765), p.18-23, 2017.
- 8) 中塚幹也: 学校保健における性同一性障害-学校と医療の連携, 日本医事新報, (4521), p.60-64, 2010.